

## 報道関係各位

千葉市のソーラーシェアリング設備下にて、サツマイモの収穫を実施します

2018年11月22日

千葉エコ・エネルギー株式会社

## 千葉市のソーラーシェアリング設備下、サツマイモの収穫を実施

全国でソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する総合コンサルティング事業を展開している千葉エコ・エネルギー株式会社（代表取締役：馬上丈司、本社：千葉県千葉市）は、地域への自然エネルギーの普及や持続可能な社会作りを目指し、本年4月より千葉市内にて農業参入を果たしました。この度2018年11月28日、千葉市の自社保有ソーラーシェアリング設備にて、サツマイモの収穫を実施します。

つきましては、メディアの皆様向けに、収穫の様子をご取材いただけますよう圃場を開放いたしますので、ご希望がございましたら下記までご連絡をお願いいたします。

### 記

- 日時 : 2018年11月28日（水曜日）13:00～14:30  
場所 : 千葉市緑区大木戸町 千葉エコ・エネルギー株式会社 大木戸圃場（2ページ目）  
内容 : ソーラーシェアリング設備下でサツマイモの収穫を行なう  
取材可能事項 : 収穫の様子／栽培作物の概要／今後の農作業／ソーラーシェアリングの概要  
その他にもご要望がございましたら、ご相談ください。  
申込・問合せ先 : 千葉エコ・エネルギー株式会社 担当 儀同千弥／岡田篤  
お申し込みはメールで承ります。[宛先：contact@chiba-eco.net]



サツマイモの様子（2018年7月）



完工直後の設備（2018年3月）

千葉県は、国内で収穫量第3位（※1）を誇るほど、サツマイモと縁のある地域です。また、痩せた土地でも作りやすい作物であるため、耕作放棄地解消のための取り組みとして期待されているソーラーシェアリングとは親和性が高いと考え、試験的に栽培を行ないました。

当社は、ソーラーシェアリングという特殊環境下での高品質・高収量かつ安定生産が可能な農作物の栽培方法を確立するために、様々な作物を試験栽培し、調査・研究を行っています。各専門家と共同で研究を行ない、ソーラーシェアリングと組み合わせる最適な農業を見つけ出し、新しい農業モデルとして形作っていきます。

※1：作物統計調査 作況調査（水陸稲、麦類、豆类、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）平成29年産かんしょの収穫量（全国農業地域別・都道府県別）

### 【千葉エコ・エネルギー株式会社 大木戸圃場】

2018年4月より、千葉県千葉市緑区大木戸町にて、農業を開始しました。ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）設備の下では、サツマイモや里芋などの栽培を行なっています。



JR外房線 土気駅より車で20分

#### ■会社概要

商号 : 千葉エコ・エネルギー株式会社  
代表者 : 代表取締役 馬上 丈司  
所在地 : 千葉県千葉市稲毛区弥生町2-15 西千葉浪花ビル3F  
事業内容 : 自然エネルギー事業化支援, 自社発電事業, 農業  
URL : <https://www.chiba-eco.co.jp/>  
TEL : 043-301-6998  
Email : [contact@chiba-eco.net](mailto:contact@chiba-eco.net)

#### ■本件に関するお問い合わせ先

千葉エコ・エネルギー株式会社 儀同千弥／岡田篤  
TEL : 043-301-6998  
Email : [contact@chiba-eco.net](mailto:contact@chiba-eco.net)